

職員による自己評価

A 環境面

2スペースに分けられていて、その日のプログラムや人数によって、児童と職員を振り分けている。

B 児童への支援内容

支援内容改善の為、業務の見直し・担当職員の変更などを周期的に行い、全職員が同じ支援が出来るように工夫している。

C 関係機関との連携

コロナ禍もあり、なかなか外部との連携をとるのが難しい現状。学校の情報が少ない場合は、その都度連絡を取り情報共有を行っている。

D 保護者への説明責任・信頼関係

前年度と同じように、個別に保護者の方々へ電話支援を行っており、HPも活用して日々の活動内容を発信している。

E 非常対応

定期的な全職員での研修を行っており、研修内容の見直し・改善を日々行っている。

保護者による評価

A 環境面

少人数なら十分だと思うが、活動の場所・遊ぶ場所の区分でもう少し広いスペースがあれば望ましい。

B 児童への支援内容

他学年と交流できる場として、教材や活動内容のプログラムが工夫されており、子どもの成長発達の促しになると思う。

C 事業所からの情報発信

利用した日の連絡帳や同封するプリント等で適宜対応されている。HPの更新もしており、子どもの活動内容が分かりやすい。

D 非常対応

年に数回の不審者・災害訓練を実施しており、いざという時の行動のイメージが出来る。

事業所内での分析

【共通点】

・HPを使った日々の活動内容を個人情報の保護に十分注意して周知することによって、色々な活動を保護者の方々に伝えることが出来ていた。

【相違点】

・施設内が2スペースに分けられていることを保護者の方々に伝わっておらず、利用児の状態や人数によって分けていることを周知することが必要だという事が分かった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・日頃から業務改善の為、支援内容の見直し等を行っており、緊急時や災害時にもマニュアルに沿った対応を取ることが出来る。
- ・電話支援など必要に応じて個別対応を行う等の、各ご家庭に合わせた支援の提供に努めている。

事業所の改善点

- ・学校や連携機関との情報交換が出来ていない時もある為、連携をより深める必要がある。
- ・今後もコロナ禍が続いていくことを想定して、その中でも限られたプログラム内容でいかに子どもたちが過ごしやすい環境でいられるかという検討を行っていく。

事業所の改善への取り組み

- ・学校・連携機関の他に、保護者との連絡が密に取れるように、改めて確認する。
- ・コロナ禍でも、子どもたちが落ち着いて過ごしていける居場所づくりについて、日頃のミーティング等を通して検討を行っていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

たくさんのご意見・ご感想を寄せて頂き、有難う御座いました。職員だけでなく、いつも保護者の皆様の声を聞くことによって、また違った視点でよこはまことり園を見ることが出来ています。これからもよこはまことり園をどうぞ宜しくお願い致します。

事業所名 第二よこはまことり園

担当者 中川 あゆみ